

鉄道ピクトリアル

2020年3月号 Vol.70 No.3 通巻No.970

〈特集〉西武鉄道特急50年

■表 紙 歴代西武特急車両 焼田 健

横瀬車両基地 2019-11-9

キヤノン EOS5DsR TS-E24mmF3.5L II 絞りf11 タイム1/125 ISO100

西武秩父線開通50周年記念ロゴは西武鉄道提供

■グラフ

西武特急三代記（1～8ページ）

三島達夫・河原慶明・山口大助・水野照也・堀江光雄
..... 千田正哉・佐藤利生・静 拓志・雙木貴之・池添智和
津山英士・羽賀元彦・眼目佳秀・編集部

*

西武鉄道10000系カラーコレクション 写真：山崎秀和ほか… 32
西武鉄道の初代特急車 5000系 RED ARROW の足跡

..... 写真：三島達夫・佐藤 博ほか… 33

1970年代の西武鉄道点描 写真：三島達夫・山田虎雄ほか… 38

魅惑の新型特急車 001系“Laview” 構成：編集部… 42
立山山麓のレッドアロー 富山地鉄16010系

..... 写真：下嶋一浩・佐藤利生ほか… 46

西武秩父線各駅停車 写真：斎藤幹雄・千田正哉ほか… 48

西武レッドアロー 登場時のパンフレットから

..... 所蔵：長谷川優一… 84

「RED ARROW 5000」5000系登場時の関係者向けパンフレット

..... 所蔵：熊谷友昭… 86

坂戸直輝コレクション 西武秩父線開業時の西武電車沿線案内

..... 所蔵と解説：坂戸直和… 89

*

Pictorial Color Gallery ラストステージ 大野 義久… 81

〔JR東日本E261系「サフィール踊り子」/JR東海HC85系〕 90～93
／東京メトロ銀座線渋谷駅新駅舎化ほか

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) 94

JR貨物EF200形 運用離脱後の状況 第6かいぎしつ… 102

連載・昭和の鉄景(第39回) 椎橋 俊之… 104

■本文

今月の話題：西武鉄道特急50年 編集部… 9

西武鉄道 特急の輸送動向 大山 早紀… 10

西武鉄道特急車の50年 佐藤 利生… 14

西武秩父線開業時をふりかえって 田中秀夫・西尾恵介… 54

西武鉄道10000系のエピソード 条川 零一… 62

*

鉄道の話題 編集部… 80

書評(660)『鉄道貨物輸送とモーダルシフト』 三木 理史… 105

小田急電鉄5000形

..... 小田急電鉄(株)交通サービス事業本部運転車両部… 106

JR東日本701系一般形交流電車の現況 秋田運転センター(1)

..... 日向 旭… 114

JRグループ2020年3月14日ダイヤ改正の概要 編集部… 117

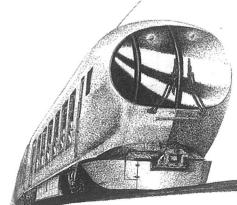
12月のメモ帳 120

読者短信・情報ファイル 121

後部車から 125

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今
月
の
話
題

西武鉄道特急50年

武蔵野鉄道が旧西武鉄道を合併し、戦後の1945(昭和20)年9月に新たに発足した西武鉄道は、他の大手民鉄と同様に沿線の宅地造成、豊島園の合併や西武園遊園地の整備・拡充など沿線に行楽施設を開設し輸送需要を増加させてきた。しかし、沿線に日光や箱根のような大きな観光地を持たず、輸送の主体は専ら通勤・通学客であり、鉄道趣味上では旧形国電タイプが多数在籍するとともに、バラエティに富んだ電気機関車が活躍した貨物輸送が興味の中心であったようだ。こうした西武鉄道が吾野から奥武蔵の山間を縫つて、秩父地方に達する新線計画により、旅客・貨物の新たな需要喚起をはかるべく、曲折を経て西武秩父線吾野—西武秩父間19.0km(営業キロ)の建設を1967年に着工、1969年に竣工し、同年10月14日に開業を果たす。2019年には西武秩父線開業50周年の節目を迎えた。

西武秩父線の開業に際し西武鉄道はさまざまな試みを打ち出したが、中でも有料特急の登場は大きな注目を集めた。5000系レッドアローが西武初の特急車として新製され、池袋と西武秩父を結び、秩父地方の魅力をアピールし、観光地としての秩父の知名度を高めていった。特急運転はその後も増強がはかられ、観光輸送とともに通勤ライナー的な役割も高まり、多くの利用者に親しまれた。1993年には新宿線系統でも特急運転を本格的に開始し、5000系の後継として10000系NRAが投入され、後に池袋線系統も10000系へと置き換えられた。2019年には西武特急3代目として、斬新なデザインが大きな話題となった001系Laviewがデビュー。西武特急の存在感はますます大きなものとなった。西武秩父線と同じく2019年は特急運転も50周年であり、001系は新時代を飾るに相応しい車両として、その活躍と今後の展開が楽しみである。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan